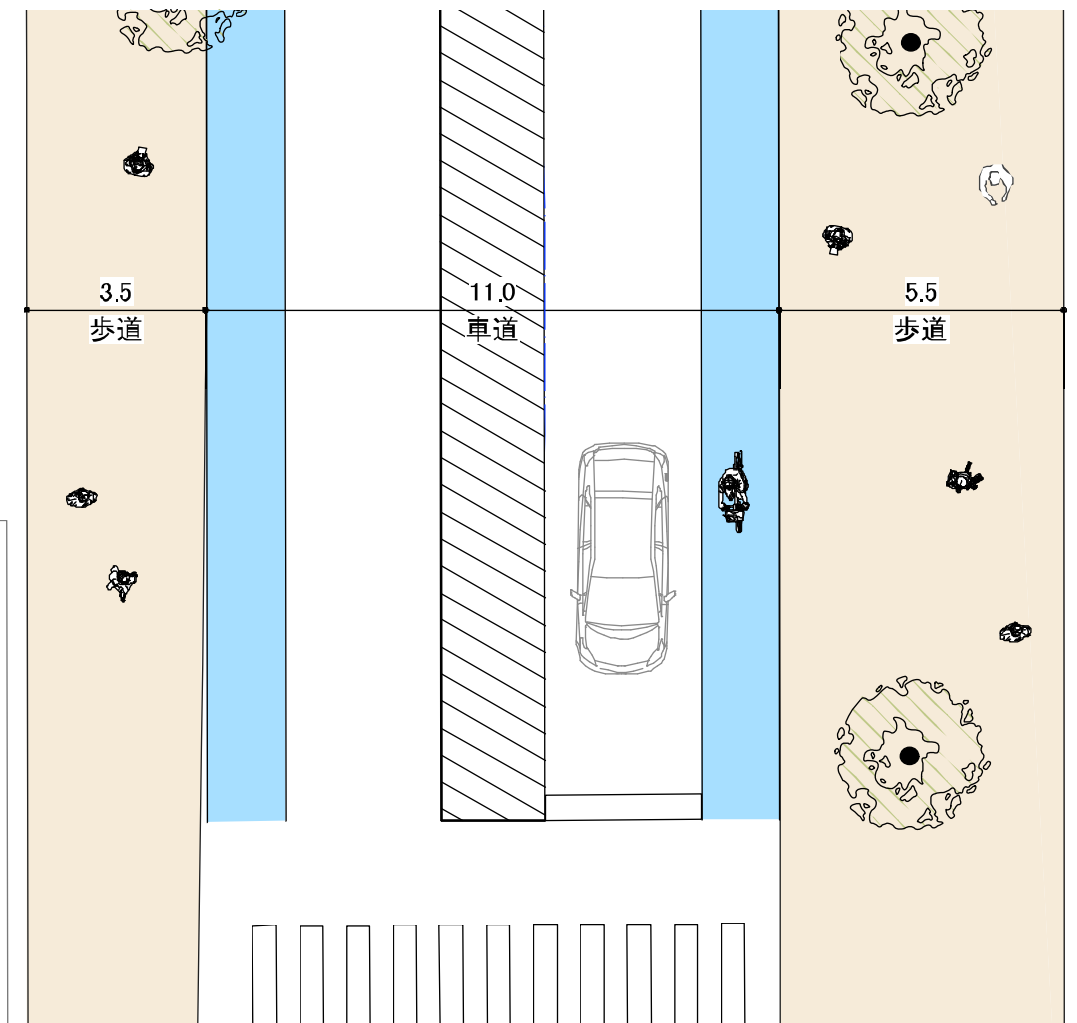
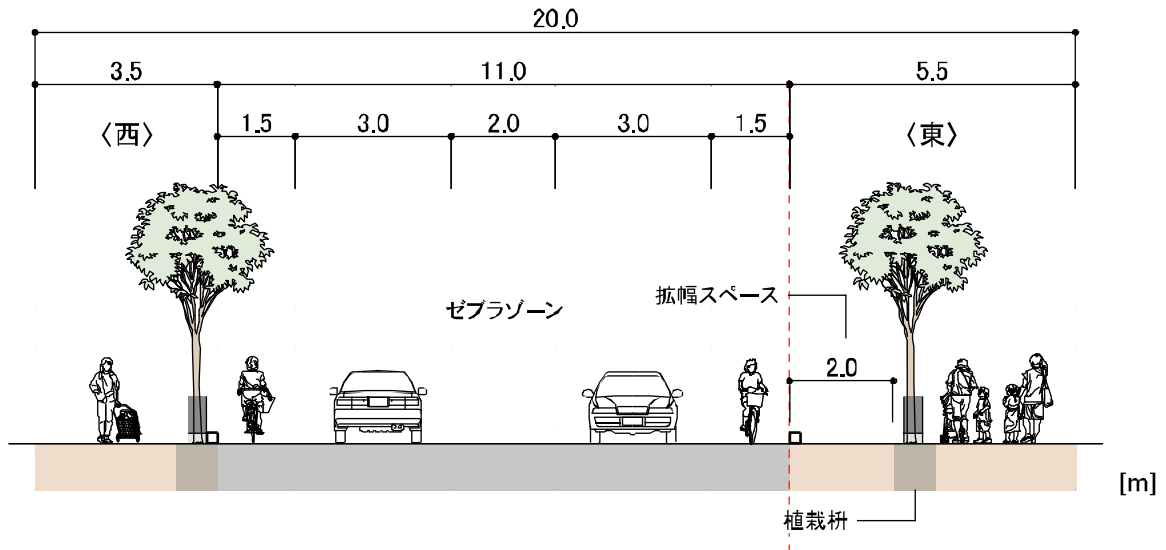


(1) 基本デザインの考え方

■ 基本計画(案)

基本計画で整理した横断および平面計画。



(1) 基本デザインの考え方

■ 基本計画(案)

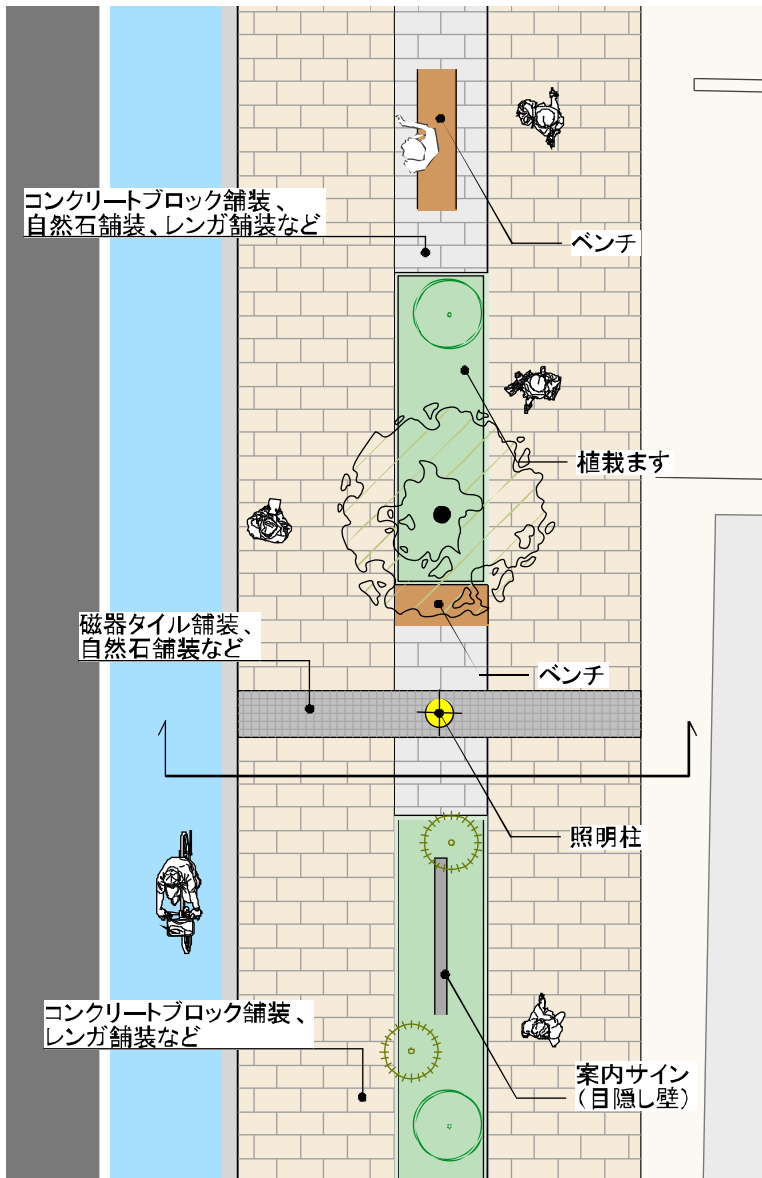
- ・「活用の可能性」などの観点から東側歩道5.5m、西側歩道3.5mとした。



(1) 基本デザインの考え方

■ 東側歩道の基本的な考え方

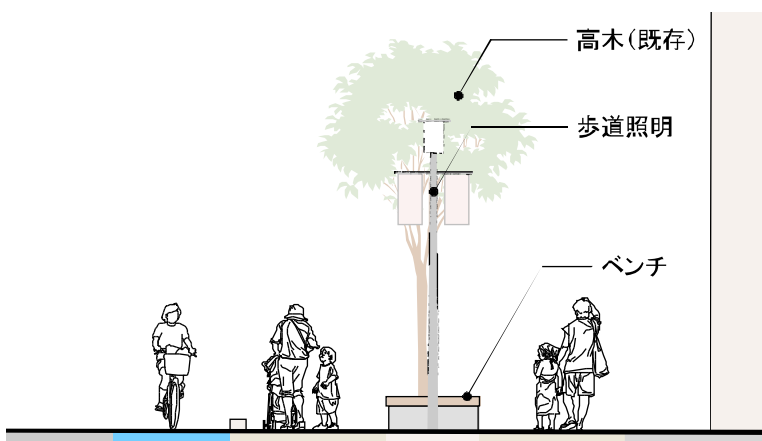
- ・既存の植栽を生かしつつ、歩道空間を西側に2m拡幅し、イベント利用も可能な歩行空間とする。
- ・歩道の中央に帯を設け、その中に植栽、サイン、ベンチ、照明柱などを配置することで、十分な歩行幅員を確保しつつ、にぎわいを演出する空間とする。



歩道の中央に、植栽ます・ベンチ・照明柱が一行に並び、統一感のある通りのイメージ。



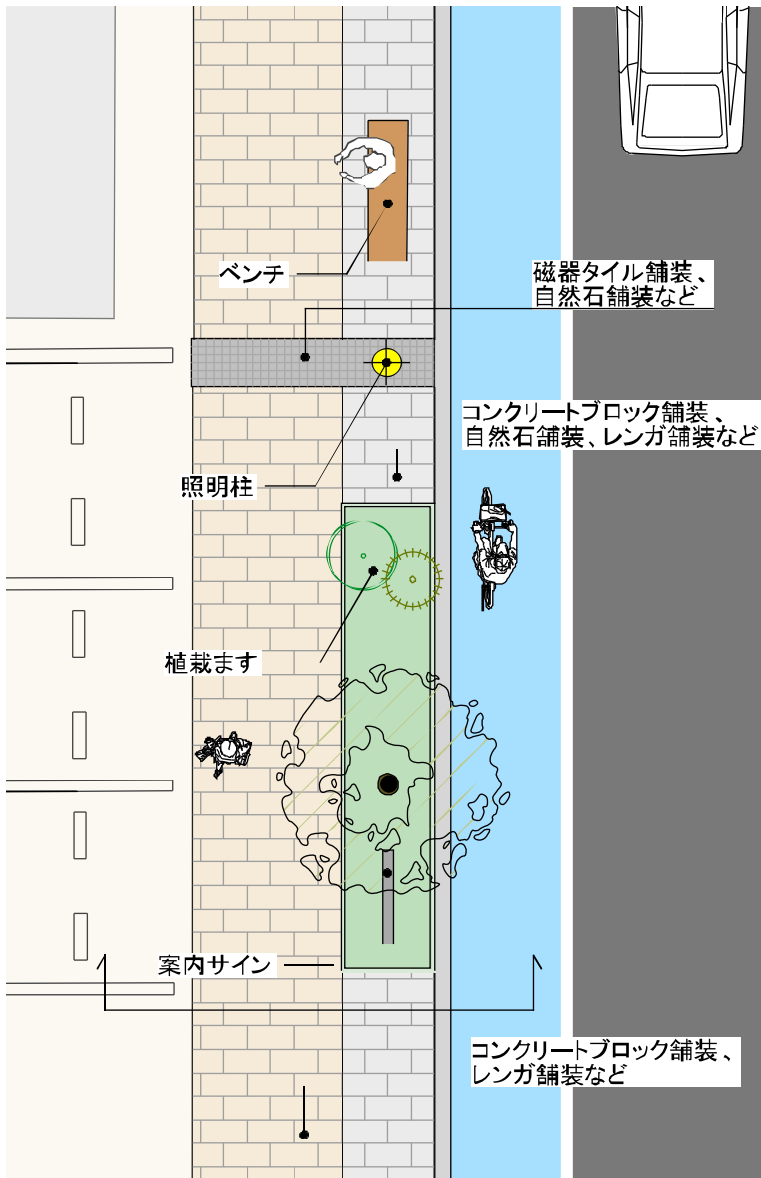
照明柱のバナーや案内サインにより、イベント時には賑わいを創出する。



沿道施設(広場)と連続して通りの活用を促す。

■ 西側歩道の基本的な考え方

- ・歩道空間は既存と同幅員であるが、自転車専用レーンを新設することで有効幅員が広がり、歩行者が安心・安全に歩きやすい歩道空間となる。
- ・誰もが安心安全に歩行できるよう、歩道照明やひと休みできるベンチを設ける。



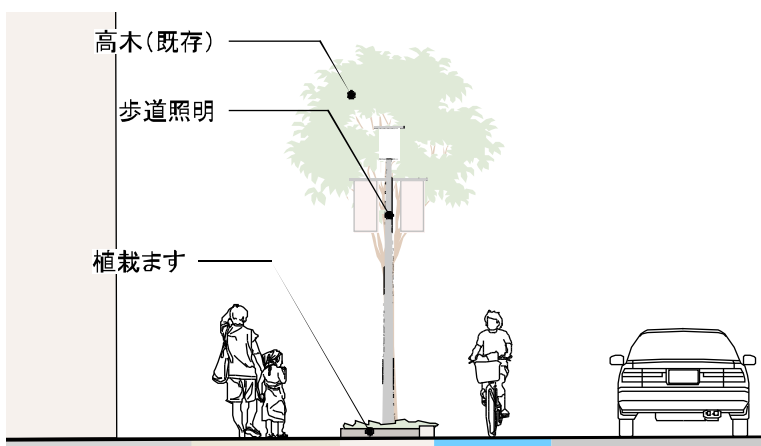
車道沿いに、植栽ます・ベンチ・照明柱が一行に並び、統一感のある通りのイメージ。



ベンチや植栽を配置しつつも、車椅子同士のすれ違いも可能な通行幅を確保できる計画。

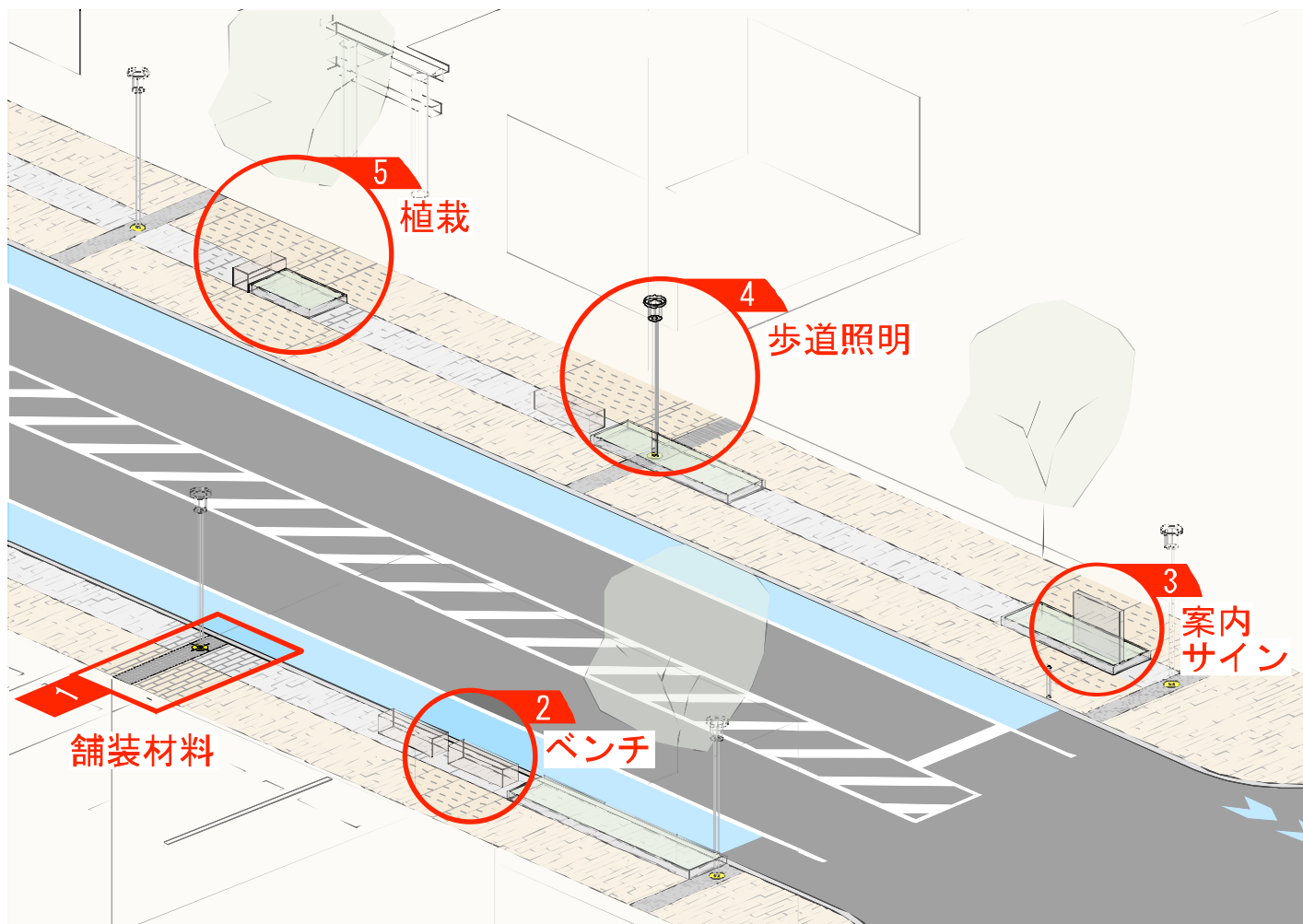


歩行中に一休みできる緑陰のあるベンチのイメージ。



(2) 歩きたくなる仕掛け

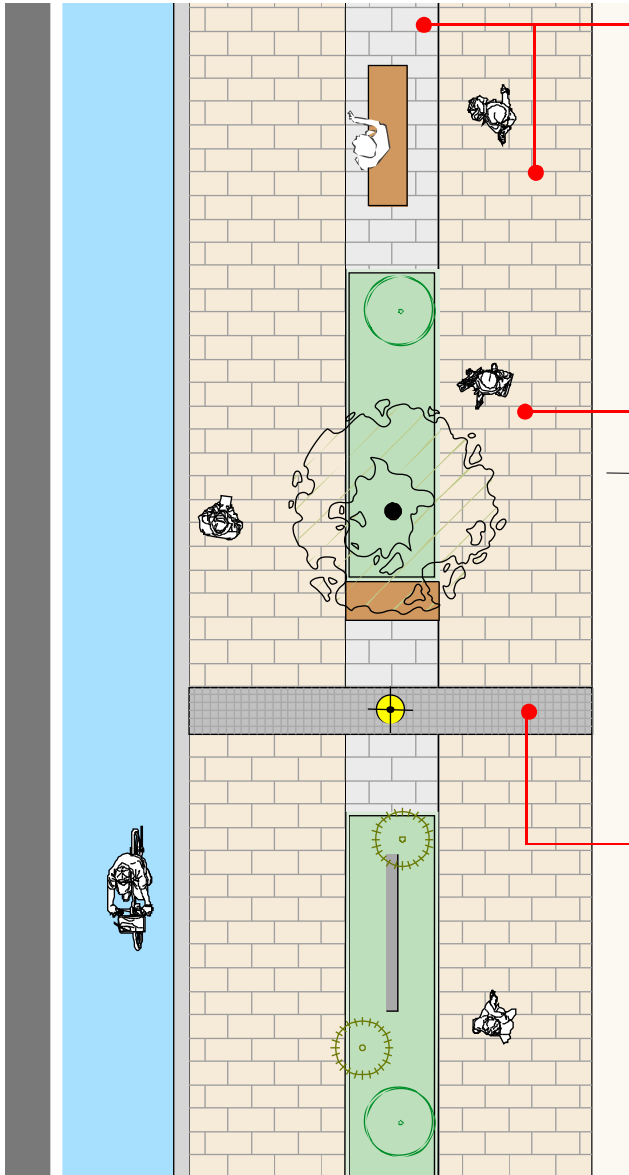
歩きたくなる5つの仕掛け



(2) 歩きたくなる仕掛け

1. 舗装材料の考え方

歩きたくなる道とするため、歩きやすい舗装材料を用いることはもちろんとして、ボーダー舗装などによりリズム感を演出する。



〈一般部〉

コンクリートブロック舗装



- 【歩きやすさ】
 - ・滑りにくい表面仕上げが可能
 - ・目地が必要
- 【維持管理】
 - ・15年程度で補修
 - ・必要な箇所のみ取り替え可能
 - ・補修時の同等品の確保が課題
- 【景観・地域性】
 - ・用途に適した色の選定可能

プリント舗装



- 【歩きやすさ】
 - ・滑りにくい表面仕上げが可能
- 【維持管理】
 - ・掘り返しなどが発生するが、部分補修は可能(多少色ムラ等は発生する)
- 【景観・地域性】
 - ・人工的な着色とパターンとなる
 - ・経年的な変化がない

〈ボーダー舗装〉

磁器タイル舗装



- 【歩きやすさ】
 - ・滑りにくい表面仕上げが可能
 - ・タイル目地が必要
- 【維持管理】
 - ・15年程度で補修
 - ・必要な箇所のみ取り替え可能
 - ・補修時の同等品の確保が課題
- 【景観・地域性】
 - ・用途に適したタイルの選定可能

自然石舗装

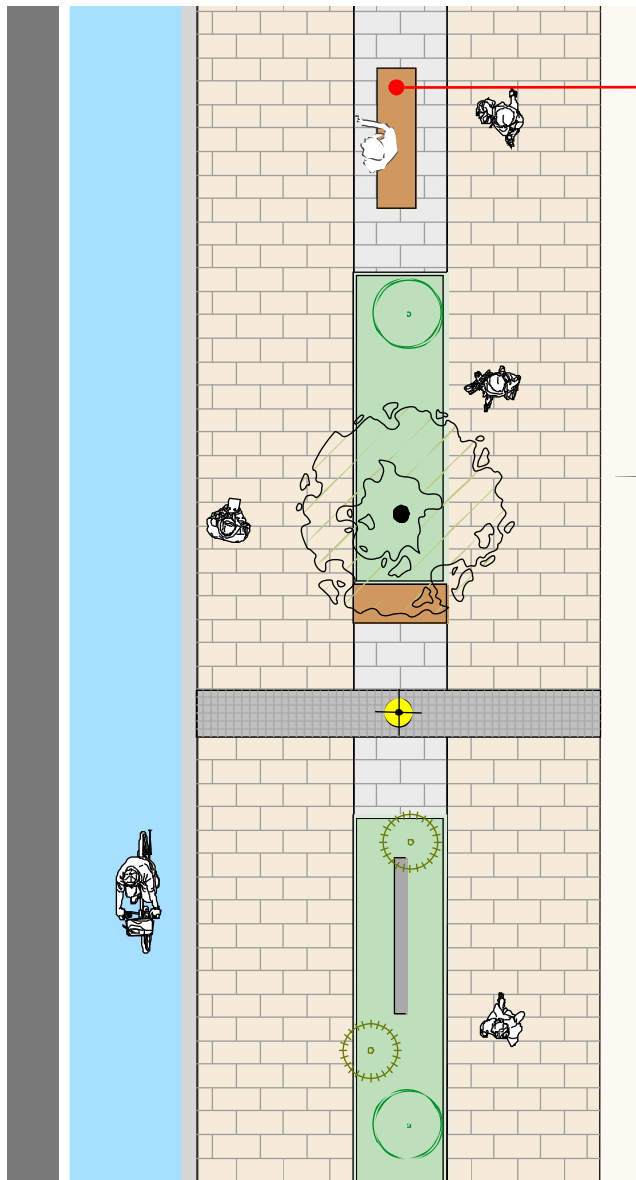


- 【歩きやすさ】
 - ・滑りにくい表面仕上げが可能
 - ・がたつきのない下地処理と目地仕上げが必要
- 【維持管理】
 - ・破損した場合、補修時の同等品の確保が課題
- 【景観・地域性】
 - ・時間の経過に伴い質感が向上

(2) 歩きたくなる仕掛け

2. ベンチ等のお休みどころの提案

歩道を拡張することにより、移動するだけでなく、過ごす場所となることを目指す。
ベンチ等も丁寧に設えることで、通りの質を向上させる。



【座面：木製ベンチ】+【土台：コンクリート】



座面：座り心地を考慮した木製
(メンテナンス性を考慮した納まりとする)

土台：地面と接する箇所は、腐食を考慮しRC

特徴：歩道空間が狭い印象とならないよう、
どちら側も座れるように、背もたれのないデザイン



ベンチ土台はプリントで表情をつけることも可能

■ 背もたれ付ベンチ



空間の方向性を規定し、
狭い印象となる。

■ RCベンチ等



夏は暑く、冬は冷たくなる。

■ 仮設ベンチ



すべてを木製とすると、
耐久性に劣る。

(2) 歩きたくなる仕掛け

3. 行先や距離などが分かりやすいサインの提案

SAGAサンライズパークへの来訪者など、地域外の人にもわかりやすいサイン計画が必要。
イベントに合わせて掲示を変えたり、距離表示など。

■ イベント時のサイン掲示ファニチャー



必要に応じて、ポスターなどを掲示できる壁面のイメージ



(模型写真)



目隠し壁を兼ねたデザインの案内板のイメージ

■ 目的地や距離表示の設え



サインをファニチャー等に絡めて計画



目線が低い子供にも見えるよう、
サインを路面に計画

(2) 歩きたくなる仕掛け

4. 照明配置の提案(バナー設置も含め)

駅からSAGAサンライズパークをつなぐ三溝線は、夜の照明計画も重要となる。
機能照明と演出照明を組み合わせることで、安心・安全かつ居心地のよい街路の演出を行う。

■ 機能照明



安心安全を確保し、通りのイメージを創出する
機能照明デザイン



イベント時には、フラッグの設置が可能な設え

■ 演出照明



歩道空間を優しく照らすベンチ下の照明



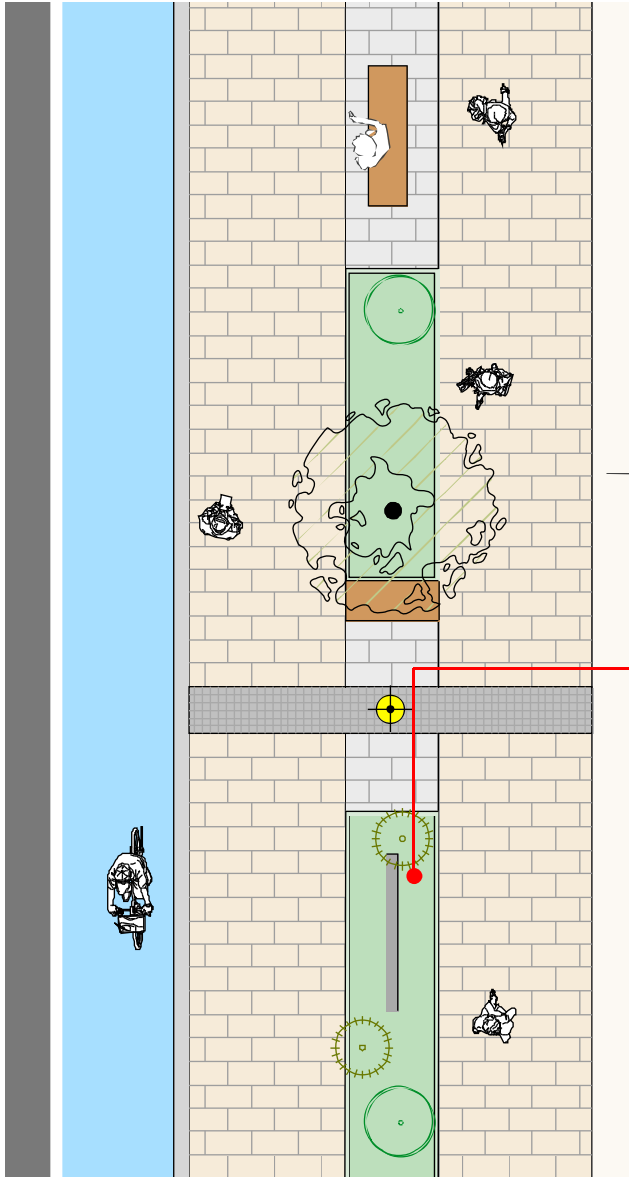
植栽を照らし夜間でも緑の気配を感じるライトアップ

(2) 歩きたくなる仕掛け

5. 季節を感じる植栽配置と樹種の考え方

三溝線にある既存樹木を活用した植栽計画。
足元には、高木植栽の生育にも考慮し、植栽ますを検討する。

■ 植栽帯のイメージ



三溝線の既存樹木



歩道空間に繋がる植栽帯の計画



(模型写真)



5. 季節を感じる植栽配置と樹種の考え方

季節を感じる植栽配置とするため、具体的な植栽方法を検討するとともに、美しい通りを維持するための管理方法を検討する。

■ 植栽方法のアイデア



地被植栽のしつらえ



植栽可能な植栽マスのしつらえ



デザインされたプランターによる草花の設置



自然土防草材のしつらえ

■ 維持管理



地域と一緒に植栽を育てるしくみづくり



管理用の水栓やホースの設置

(3)三溝線 活用イメージ

■三溝線の活用イメージ

活用の目的に合わせて使い方を変えることのできるフレキシブルな空間。

■スポーツとの連動イメージ



スポーツイベントに合わせたバナーやパネルにより賑わいを演出。
中央の緑地帯を活用することで、両脇の通りは普段通りに通行することができる。

■イベントとの連動イメージ



沿道施設やマルシェイベント等と連動し、通り全体を使った賑わいを演出。
歩道全体を使ってインパクトのあるイベントが開催できる。